

りゅうがく館だより

令和4年3月号



第19回 龍郷町 短歌、俳句、川柳コンクールへのたくさんのご応募をありがとうございました。

ひな人形でお出迎え

りゅうがく館では、ひな人形を3月1日～31日まで展示しています。こちらは、林 由佳さんより寄贈いただきました。

林さんは「最近、ひな壇を飾るといことは少なくなっている気がします。せつかなので子どもたちに見てもらいたいです。これからはりゅうがく館で龍郷町の子どもたちの幸せを見守ってほしいと思います。」と語りました。りゅうがく館に来館された際は、ぜひご覧ください。



おしらせ

りゅうがく館では、第19回 短歌・俳句・川柳コンクールの受賞作品の展示を行っております。

期間は 3月11日～3月31日 となります。



～ 新着図書案内 ～

《一般書》

- 『新特産シリーズ マコモタケ』（西嶋 政和/農山漁村文化協会）
- 『日本語の大疑問』（国立国語研究所/幻冬舎）
- 『カジュアルな算数・数学の話』（鶴崎 修功/クラーケンラボ）
- 『防災心理学入門』（矢守 克也/ナカニシヤ出版）
- 『どこからが病気なの？』（市原 真/筑摩書房）
- 『介護保険のしくみと使い方がわかる本』（牛越 博文/講談社）
- 『同志少女よ、敵を撃て』（逢坂 冬馬/早川書房）
- 『大人になるってどういうこと？』（神内 聡/くもん出版）
- 『基本のラッピング』（つつみ屋工房/成美堂出版）

他

《児童書》

- 『水族館』（ほりかわ あやこ/福音館書店）
- 『相手の身になる練習』（鎌田 實/小学館）
- 『みんなの津波避難22のルール』（永野 海/合同出版）
- 『いろどり屋』（廣嶋 玲子/ほるぷ出版）
- 『あやとり大全集』（野口 とも/主婦の友社）
- 『すりすりこちょこちょだっこでぎゅ！』（うらつか りょうま/永岡書店）
- 『しあわせのレッスン』（上谷 実礼/KADOKAWA）
- 『カンナマルクールクの神』（野原 正子/ひつじ書房）
- 『学研の図鑑LIVE 世界の昆虫』（岡島 秀治/学研プラス）

他

今月のおすすめ本

《一般書》

『イチからわかる牛の放牧入門』（平野 清 /農山漁村文化協会）
放牧のメリットを最大限に生かす基礎知識とコツを、専門家詳しく解説。耕作放棄地での放牧から、牧草の導入法、冬の放牧まで。よくある失敗の予防策・対策も充実です。
『海に油が流れると…』（佐々木 邦昭/銀の鈴社）
海での油流出事故は世界のあちこちで起こっています。しかし、その対策はいまだ十分ではありません。現場の記録や法律、事故の原因から油の種類まで、様々な面から油による海洋汚染を分析します。

《児童書》

『給食アンサンブル』（如月 かずさ/光村図書出版）
転校先の学校になじめない美貴、悩める人気者の雅人、孤独な優等生の清野。六人の中学生たちの揺れる心が、給食をきっかけに変わっていきます。
『ねこまたごよみ』（石黒 亜矢子/ポプラ社）
ねこまたの1年は、2月から始まります。2月22日は盛大なパレードでお祝い。人と似ているようでちょっと違う、猫の妖怪・ねこまたの五つ子家族とめぐる1年間のおはなし。

